

12 LGBTってなんだろう？

ワーク 1

LGBTは、Lはレズビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシュアル、Tはトランスジェンダーの略で、性的マイノリティを総称して使われる言葉です。次のそれぞれの言葉の説明として当てはまるものを1～8から選んで答えましょう。

レズビアン	ゲイ	バイセクシュアル	トランスジェンダー

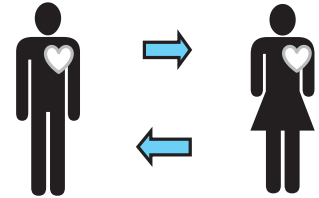
異性愛者	同性愛者	性的指向	カミングアウト

1 男性を恋愛対象としたり、男性に性的魅力を感じたりする男性。	2 どの性別を恋愛、性的魅力の対象とするか。「セクシュアリティ」ともいう。	3 女性を恋愛対象としたり、女性に性的魅力を感じたりする女性。
4 男性、女性の両性を恋愛対象としたり、両性に性的魅力を感じたりする人。	5 自分の生まれ持った身体の性に違和感がある人。	6 自分の性的指向等を誰かに伝えること。「クローゼットの中から外に出る」が語源。
7 同性を恋愛対象としたり、同性に性的魅力を感じたりする人。	8 異性を恋愛対象としたり、異性に性的魅力を感じたりする人。	

ワーク 2

身体と心のセクシュアリティと、性的指向って？

次の(例)は、Aさんが自分自身の「身体」の性別や「心」の性別、「性的指向」(どちらの性別を恋愛対象としたり、性的魅力を感じるか)の様子を表した図と、それについて説明したものです。(例)を参考にして、1～3のそれぞれの人について説明してみましょう。



(例) Aさん

身体	男	女
心		
性的指向		

身体は男性で、自分は男性であると思っています。
女性に対して性的魅力を感じているので、異性愛者であると思っています。

1 Bさん

身体	男	女
心		
性的指向		

2 Cさん

身体	男	女
心		
性的指向		

3 Dさん

身体	男	女
心		
性的指向		

ワーク 3

次の文章は平良さんという方のお話です。文章を読んで、質問に答えましょう。

小学校の頃、スカートをはきたいと母親に言ったら、母親と一緒に生地を買いに行き、縫ってくれました。母親は「人と違って良い」といつも言ってくれました。中学生の頃、同性への興味があることを自覚し、図書館で関係する本を読む中で、自分は普通ではないと思い、苦しみが始まりました。最初のカムアウトはSOSでした。友人のIくんに自分のことを話したところ、Iくんは「今までとかわらないよ」と言ってくれ救われました。しかし、「今までとかわらないよ」という言葉に納得ができない自分がありました。「今までと違うことをカムアウトしたのだから」という思いが湧き上がりました。

高校卒業後、ゲイの雑誌があることを知り、自分には仲間がいることを知りました。群馬の大学に進学した時、ゲイの学生と出会いました。その人を好きになるしかありませんでした。また、同級生に対して、「自分を教えてください。」というカムアウトもしました。

牧師の勉強をしている時代に、ゲイの人たちの裁判を支援しました。多くのゲイの友達に出会うことができ、好きな人を選ぶ権利があることを知りました。また、自分が思ったことを言える経験や普通の会話ができる喜びを知りました。この経験を通して、「ひとりではないよ。自己肯定感をもってもらおう。」ことを伝えることができるようになりました。母親へのカムアウトは親子関係がかわらないので難しいものでした。母親は「親の育て方か」「治るのか」「異性愛にかわるのか」という反応でした。「親の育て方の問題ではないし、治療の対象でもない、今まで同性愛なので変わることはない」と答えました。母親は「もっと理解したいので教えて」と答えてくれました。

「人権センターニュース No. 265・266 合併号」 一般社団法人神奈川人権センター（平成26年7月）より

カムアウト…カミングアウトと同義

自己肯定感…自分の性格や能力などを肯定的に考えたり感じたりする感情。「自分のあるがままを受け入れ、自分自身を大切にする。」という気持ち。

(1) 平良さんが母親に「スカートをはきたい」と言ったときの心境を考え、書きましょう。

(2) I くんに「今までとかわらないよ」と言われた時の救われた気持ちと、納得がいかなかった気持ちをそれぞれ説明してみましょう。

(3) 平良さんが「ひとりではないよ。自己肯定感をもってもらおう。」と伝えているのは、なぜだと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

ワーク 4

今日の学習を通して、感じたことや考えたことを書きましょう。

解説 12 LGBTってなんだろう？

1 ねらい

現在、世界では20カ国で同性婚が認められている。2015年6月にはアメリカの最高裁判所で「同性婚」をすべての州で認める判断をし、事実上、合法化された。これを受けオバマ大統領が「これはアメリカにとって勝利だ」と、声明を発表した。また、日本でも平成27年3月に渋谷区議会で、同性カップルを結婚に相当する関係と認め、証明書を発行する「同性カップル条例」が成立した。

私たちの性的指向や性自認のあり方は様々である。日本の広告代理店の調査によると、LGBTに該当する人たちの割合は人口の7.6%になるという結果が出ている。そのことから40人のクラスで2人から3人の性的マイノリティの生徒がいる可能性があると考えられる。教職員のみならず生徒一人ひとりが性的マイノリティの人々の存在を知ることや互いを尊重し合うことの大切さ、支援のあり方について考えを深めさせたい。

※ LGBT調査 2015

調査時期等：平成27年4月 株式会社電通が実施（インターネットによるアンケート調査）
調査対象：全国20歳～59歳、約7万人

2 進め方

展開例（50分）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (5分) ① さまざまな性的指向の特徴等の説明を1～8から選び、答える。	○ さまざまな性的指向の特徴等を理解し、自分がどのように受け入れ、尊重できるかを考えるよう伝える。
2 ワーク2 (10分) ① ワーク1で学んだことを踏まえて、(例)を参考にして、1～3の人について説明する。 ② ①についての説明を聞く。	○ ワーク1で学んだそれぞれの性的指向や特徴等を踏まえて、考えるように伝える。 ○ 1～3はあくまで一例であって、これがすべてではなく、性的指向や性自認といったセクシュアリティは多様であることを伝える。 ○ 解説の(例)を参考にし、1～3の人について説明をする。

3 ワーク3 (30分)

① ワーク3の教材を読み(1)~(3)に自分の考えを記入する。

- 平良さんの話を読み、その時々平良さんや周囲の人の気持ちを書き、理解を促す。
- 小学生であることや、その後の母親の言動等もふまえて、平良さんの心境を想像するように促す。(1)
- 2つの気持ちを説明することが難しい場合は、1つでもよいことを伝える。(2)

4 ワーク4 (5分)

① ふりかえりを書く。

- 【参考】(1)~(3)を用いて、適宜解説を加える。
- 授業全体を通して、感じたことや考えたことを書くように伝える。

② まとめを聞く。

- LGBTの悩みの例などを伝えたり、解説を参考にしたりしながら、お互いを尊重し合うことの大切さを伝える。

3 解説

ワーク1・2について

様々な性的指向と性自認があることを知り、理解する。また、性的指向や性自認は、それぞれの人にある特性であり、自らの意志や他人の意見などで変えることができないことを学習する機会とする。その中で、身近に自分とは違った性的指向がある人がいたときに、相手を受け入れ、その人が困っているときは理解し尊重できる心を育てたい。実際にクラスにLGBTの生徒がいるかもしれないということを考慮し、差別や偏見につながるような話に展開することのないよう、注意を払いながら進める。(グループやペアワークではなく個人で取り組ませることが望ましい。)

LGBTや性的マイノリティという言葉はここ最近、メディアなどいろいろな場で耳にするようになってはきたが、実際それがどのようなものなのかという認知度はまだ高いとはいえない。生徒がLGBTに関する用語の名称と特徴を正しく理解できるようにしたい。




また、ワーク2の設問は身体や心の性別、性的指向を考えるものである。身体や心、性的指向のあり様は人それぞれであることや、それらを明確に意識できている人も、気持ちが揺れ動いている人もいることを理解するとともに、全ての性的マイノリティの人々の身体や心の性別、性的指向のあり様を尊重すべきであることを理解させる。

ワーク1 解答




レズビアン	ゲイ	バイセクシュアル	トランスジェンダー
3	1	4	5
異性愛者	同性愛者	性的指向	カミングアウト
8	7	2	6

ワーク 2




1 Bさん

	男	女	
身体			
心			
性的指向			
			(例) 身体は男性で、自分は男性であると思っています。 男性に対して性的魅力を感じているので、同性愛者(ゲイ)であると思っています。

2 Cさん

	男	女	
身体			
心			
性的指向			
			(例) 身体は女性ですが、自分は男性であると思っています。 男性として、女性に対して性的魅力を感じているので、異性愛者であると思っています。

3 Dさん

	男	女	
身体			
心			
性的指向			
			(例) 身体は女性で、自分は女性であると思っています。 主に男性に対して性的魅力を感じますが、性別によらないこともあるので、バイセクシャルであると思っています。

LGBTの方の悩み

- ・自分の心の性に合った制服が着られない。
- ・「気持ち悪い」、「近寄るな」などと言われ、いじめられたが、先生や両親には原因を相談できず、不登校になってしまった。
- ・自分のことが許せず、罰するような気持ちで自分の体を傷つけてしまう。
- ・このまま大人になっていくのが怖い。
- ・クラスメイトがLGBTの人たちのことをバカにして笑っていた。
- ・自分らしく生きるために、隠さず本当の自分のことを話したい。
- ・自殺を考えたことがある。

「厚生労働科学研究費補助事業エイズ対策政策研究事業の一環で作成された、教員5,979人を対象にしたLGBT意識調査レポート『子どもの“人生を変える”先生の言葉があります。』」研究代表者 日高庸晴 (平成26年7月)より

ワーク 3 について

ここで使われている教材は、日本のキリスト教会において、男性同性愛者であることをカミングアウトしたうえで、初めて牧師として正式に任用された平良愛香さんが講演で実体験から話された内容の一部である。次の【参考】を用いて適宜解説を加え、平良さんの心の動きに注目させ、彼の葛藤を通じて性的マイノリティの人々の葛藤を理解することを促したい。

【参 考】

(1) 平良さんが母親に「スカートをはきたい」と言ったときの心境を考え、書きましょう。

(例) いつも「人と違って良い」と言っていた包容力のある母親に対し、小学生の自分は性的マイノリティという認識もなく、「スカートをはきたい」から素直に自分の思いを言ったのであろう。日頃から信頼している母親はきっと望みを受け入れてくれるであろうと、子どもらしい率直さから告げたのである。すなわちこれは、母と子のコミュニケーションのあり方のひとつであって、子どもとしては、日頃の言葉に違わず自分の希望を受け止め、買い物と裁縫で応えてくれた母親を、より強く信じることとなったと思われる。

(2) Iくんに「今までとはかわらない」と言われた時の救われた気持ちと、納得がいかなかった気持ちをそれぞれ説明してみましょう。

(例) カムアウトすることで、性的マイノリティとして異端視され、また、それまで事実を隠していたと受け取られて、友人関係が破綻する不安もあったが、「今までとかわらないよ」と言われて、救われる思いがした。しかし、その一方で、友人の反応があまりに率直明快であり過ぎる印象から、カムアウトをSOSとして受けとめてくれたのか、これまでの自分の不安や懸念、決断を分かっているのか、また、カムアウトした後の自分は以前の自分ではない(性的マイノリティである)ことを本当に理解しているのか等、救われた思いと同時に納得がいかないような気持ちになった。

(3) 平良さんが「ひとりではないよ。自己肯定感をもってもらおう。」と伝えているのは、なぜだと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

(例) 自分が同性愛者であることに長く苦しんできたが、同性愛者であることも含めセクシュアリティは決して非難されることではなく、多様な性のあり方は認められ尊重されるべきものであり、一人の人間として幸せに生きていくには、自分のあるがままを受け入れ、自分自身の大切さを認めること、すなわち「自己肯定感」をもつことが大切だと認識したから。

〈引用文献〉

「人権センターニュース No. 265・266 合併号」 一般社団法人神奈川人権センター（平成26年7月）

〈参考資料〉

「厚生労働科学研究費補助事業エイズ対策政策研究事業の一環で作成された、教員5,979人を対象にしたLGBT意識調査レポート『子どもの“人生を変える”先生の言葉があります。』」

研究代表者 日高庸晴（平成26年7月）

「電通LGBT調査2015」 株式会社電通 電通ダイバーシティ・ラボ（平成27年4月）